

PRESONAL COMPUTER VOICE MAIL SYSTEM

Publication number: JP62269548 (A)

Publication date: 1987-11-24

Inventor(s): SATOU RIYOUICHIROU

Applicant(s): CANON KK

Classification:

- **international:** H04M11/00; G06F3/16; H04M9/02; H04M11/00; G06F3/16; H04M9/02; (IPC1-7): G06F3/16; H04M9/02; H04M11/00

- **European:**

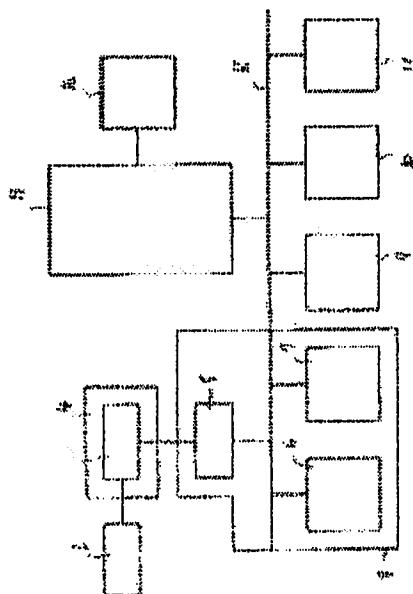
Application number: JP19860114015 19860519

Priority number(s): JP19860114015 19860519

Abstract of JP 62269548 (A)

PURPOSE: To exchange a message by a sound by quantizing and accumulating a sound message and changing it over to personal computer data and transmitting it in compliance with the request.

CONSTITUTION: The message to be communicated from a telephone set 2 is inputted by a sound. The sound inputted is digitally converted and filed to an external storage device 11 of a self-station. Next, it is communicated to a station 14 of an opponent in the same LAN that a message exists. When the signal that transmission may be executed comes from the opponent, the message data of the filed sound are transmitted to the opponent. While the received message data are transiently stored to a RAM 7 and digital analog conversion is successively executed by a converter 1, for the message of the analog sound, information can be heard from the telephone set 2.



⑪ 公開特許公報 (A) 昭62-269548

⑫ Int.Cl.¹

H 04 M 11/00
G 06 F 3/16
H 04 M 9/02

識別記号

302

厅内整理番号

8020-5K
7341-5B
8426-5K

⑬ 公開 昭和62年(1987)11月24日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 パソコンボイスメールシステム

⑮ 特願 昭61-114015

⑯ 出願 昭61(1986)5月19日

⑰ 発明者 佐藤 了 一朗 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内
 ⑯ 出願人 キヤノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
 ⑯ 代理人 弁理士 丸島 儀一

明細書

1. 発明の名称

パソコンボイスメールシステム

2. 特許請求の範囲

データ処理のためのパーソナルコンピュータ、音声入出力のための電話機、音声をデジタル相互変換する変換手段を有して LAN 対応のワークステーションを構成することを特徴とするパソコンボイスメールシステム。

3. 発明の詳細な説明

本発明は LAN の端末としてのパーソナルコンピュータに関する。

従来、LANにおけるメッセージのやりとりは文字でのやりとりに限定されていた。

本発明は、従来の文字だけのやりとりに限定されていた欠点を除去し、音声によるメッセージ交換を可能にするものである。

更に音声メッセージを電子化基板に所望に応じてパソコンデータと切換伝送するものである。

更にパソコンデータを蓄積する記憶手段にデータ

タと音声メッセージとを格納し効率の良い管理をするものである。

更に音声データを認識して文書データとし、パソコンデータの画面表示器にて切換表示せしめるものである。

更にパソコンデータと音声による文書データとを一画面中に合成して表示せしめるものである。

更にその合成データを1ページの文書データとして構成し、ページ伝送又はページプリントせしめるものである。

第1図は本発明を採用したパソコンボイスメールシステムの外観図である。第2図は本システムの要部構成を示す模式図であり、第3図は本システムのフローチャートである。第2図、第3図を参照して本システムにおける動作につき詳細に説明する。第3図のフローチャートは CPU5、ROM6他の処理部に関するプログラム手順である。

第3図のステップS1において第2図の符号2で示される電話機より伝えたいメッセージを音声

により入力する。次のステップ S 2において、入力する音声をデジタル変換し、第 2 図の符号 1 1 で示される自ステーションの外部記憶装置にファイリングする。次にステップ S 3において、ファイリング後、第 2 図の符号 1 4 で示される同一 LAN 内の相手のステーションへメツセージのあることを伝える。次にステップ S 4において、相手から送信しても良いという信号が来るまで待ち合せ処理をする。次にステップ S 5においてステップ S 2 でファイリングした音声のメツセージデータを相手へ送信する。次のステップ S 6 では受けたメツセージデータを第 2 図の符号 7 で示される RAM へ一時貯え、順次第 2 図の符号 1 で示されるコンバータによりデジタル・アナログ変換を行なながら次のステップ S 7 においてアナログ化した音声のメツセージを第 2 の図の符号 2 で示される電話機より情報を聞き出すことができる。

尚、記憶装置 1 1 として、フロッピーディスク、ハードディスク等の不揮発のものがあるが、

し合成せしめる。

この RAM の合成データは CRT のビデオ RAM に転送され、1 ページ画面に表示される (S 1 3)。これは別途の送信指令により 1 ページ伝送される。又ページプリントされる。尚ページ伝送、ページプリントとは 1 ページの間、データの流れが停止することなく伝送、プリントされるもので、例えば A4 1 ページのシートに合成データがプリント再生される。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は本発明によるパソコンによるボイスメールシステムの外観図。

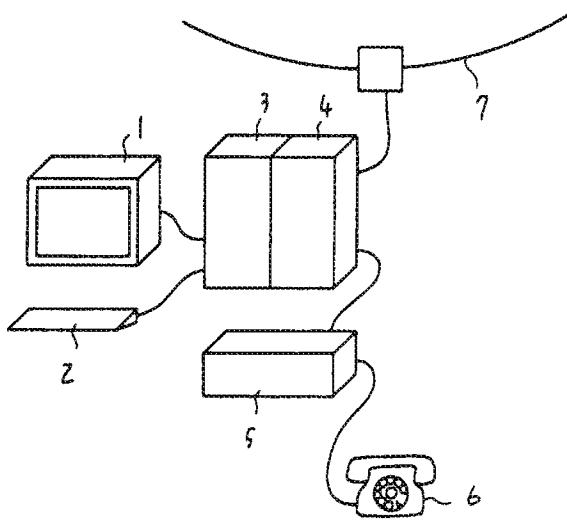
第 2 図は本システムの要部構成を示す模式図。

第 3 図は本システムにおける動作のフローチャートである。

この記憶装置は本米 C P U S によるパソコンデータ処理によるデータ中、キーボードにより入力したデータに基づく文書データを格納するものである。従ってこの同じハードディスクに、音声量子化データを格納する場合と上記文書データを格納する場合とで各々識別コードを形成し、ディスクの管理領域に各々格納する。この識別コードは、データ種別とディスク中の各々に対応するアドレスデータである。この見出しデータの入力により所望のデータを選択してプリント又は伝送する。

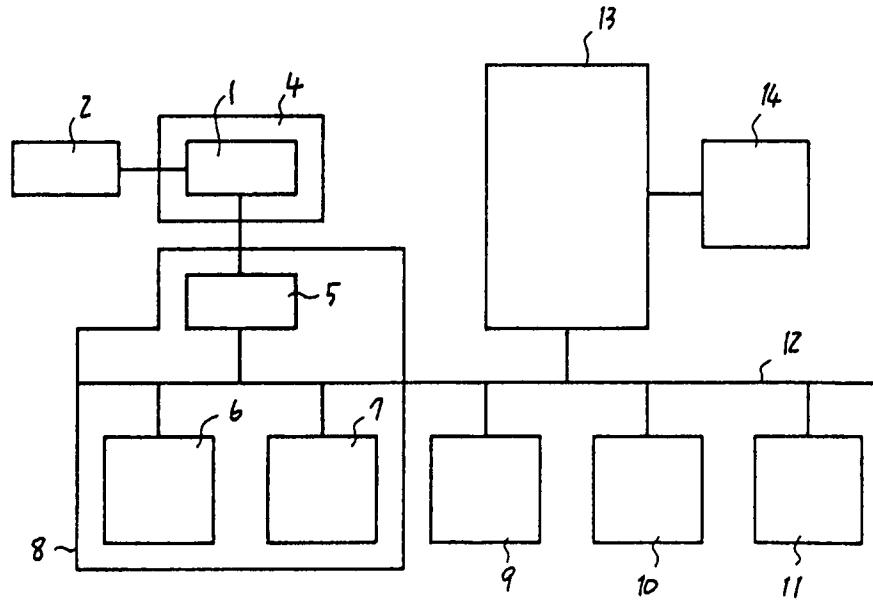
即ち S 8 にて文書読出指令の入力があったか否かを肯定し、入力時ディスク 1 1 から文書データのみを読み出して伝送する (S 9)。又、変換指令があると (S 1 0)、ディスク中の音声を文書データに変換する (S 1 1)。これは周知の音声認識による。次にパソコンによる文書データとの合成指令があると (S 1 2)、パソコンによる文書データ D₁ と音声認識によるデータ D₂ を順次ディスクから読み出して RAM の所望領域に展開

第 1



出願人 キヤノン株式会社
代理人 丸島儀一


第 2



第 3 四

